

平成25年8月15日
北上川下流河川事務所
石巻市

津波で流出した放置船対策 ！

東日本大震災においては、津波により放置船が市街地に流出したことでその被害を拡大させました。

こうした状況を踏まえ、官民一体となった旧北上川水面利用者協議会において、適正な水面利用を図ることを目的に、今年度の初会合を開催します。

- ・開催日時 平成25年8月19日（月）14：00～
- ・開催場所 石巻市役所 5階 議場
- ・次第等 別紙1
- ・協議会委員 別紙2

※協議会は原則公開です。

（ただし、議事の内容によっては一部を非公開とする場合もあります）

北上川下流河川事務所の記者発表については、ホームページでもご覧になれます。

ホームページアドレス 【 <http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/> 】

< 発表記者会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ >

問い合わせ先

○国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所

占用調整課長 瓜生圭男

住所：石巻市蛇田字新下沼80 電話：0225-95-0194

○石巻市 河川港湾室長 木村博英（携帯番号：080-1679-4496）

住所：石巻市穀町14-1 電話：0225-95-1111

○ 第 5 回 旧北上川水面利用者協議会 次 第

日時：平成 25 年 8 月 19 日（月） 14：00～

場所：石巻市役所 5階 議場

1. 開 会
2. あいさつ
3. 議 事
 - (1) 前回の協議事項
 - (2) 協議・検討事項
今後の係留船舶への対応について
 - (3) その他
4. 閉 会

○ 旧北上川水面利用者協議会（設立趣旨と協議経緯）

■設立趣旨

旧北上川の長期係留及び放置船舶は、洪水の流下阻害、流出した場合の河川管理施設等や近隣への被害、騒音や油漏れによる環境の悪化などを引き起こすことがあります。

東日本大震災においては、放置船舶等が津波により市街地へ流出し、被害が拡大しました。

こうした状況を踏まえて、水面利用者並びに沿川住民の意見を反映しつつ、安全かつ秩序ある水面利用の維持増進を図る目的をもって、平成 24 年 4 月 18 日に「旧北上川水面利用者協議会」が設立されました。

■協議経緯

これまでの 4 回の協議会において恒久・暫定係留施設の検討方針、旧北上川における係留船舶のあり方、当面の係留先等について協議検討してきました。

第 5 回協議会では今後の係留船舶への対応等について協議検討を行います。

○ 開催場所 位置図



石巻市役所 〒 9 8 6 - 8 5 0 1 石巻市穀町 1 4 番 1 号

TEL 0 2 2 5 - 9 5 - 1 1 1 1

旧北上川 水面利用者協議会 協議会委員

区 分	所 属	役 職	委 員 名
学識経験者	石巻専修大学 石巻専修大学	准 教 授 特 任 教 授	イ ドンファン 李 東勲 しみず よしはる 清水 義春
行政機関	石巻市 宮城県 東部地方振興事務所 宮城県 石巻港湾事務所 宮城県警察本部 生活安全部 宮城海上保安部 石巻保安署 東北運輸局海事振興部 東北運輸局石巻海事事務所 東北地方整備局河川部 東北地方整備局北上川下流河川事務所	市 長 所 長 所 長 生活環境課長 署 長 船舶産業振興官 所 長 河川保全管理官 所 長	かめやま ひろし 亀山 紘 おおうち ひとし 大内 仁 うめもと かずひこ 梅本 和彦 はりゆう けいじ 針生 啓司 すがわら ひろのぶ 菅原 博宣 さ さ き ゆうじ 佐々木 雄司 あべ たお 阿部 忠男 たにだ ひろき 谷田 広樹 さとう かつひで 佐藤 克英
水面利用者	石巻商工会議所 一般社団法人日本マリン事業協会 東北支部 石巻ヨットクラブ 網地島ライン株式会社 株式会社ヤマニシ	会 頭 支 部 長 会 長 代表取締役 取締役社長	あさの とおる 浅野 亨 たけもと せいじ 竹本 清司 おがさわら しゅういち 小笠原 秀一 あんばい ともいち 安倍 友一 まえだ ひでひこ 前田 英比古
沿川住民	湊一丁目町内会 門脇二丁目三丁目町内会 石巻市震災復興計画市民検討委員会	会 長 会 長 委 員	しょうじ よしあき 庄司 慈明 たしろ みちまさ 田代 方政 きむら たかゆき 木村 隆之